

議会研修視察実施報告書

目的

1. 政権交代による民主党政権下の動向と本村への影響について、下條みつ衆議院議員に本村発展のために助言と支援をお願いする。
2. 全国治水砂防協会で砂防事業について理解を含め、本村における砂防事業の進め方や今後の展望について助言を受ける。
3. 長野県東京事務所で本村の産業振興のための助言と支援を受ける。
4. 首都圏の情報発信基地である長野県東京観光情報センターで、信州の観光振興、イベント状況、特産品等の紹介を受け、本村の情報提供や営業活動方法について研修する。
5. 観光局で実施している白馬セレクト事業の展開状況を把握するため「無印良品店」を視察する。

日程及び参加者

◇ 期日 平成22年3月23日
(火) ～ 24日(水)

◇ 議会議員 11名

◇ 経費

収入
公費	27万3380円
自己負担	11万0530円
合計	38万3910円
支出
宿泊交通費	36万4695円
土産品等	1万9215円
合計	38万3910円

研修視察内容

1. 下條みつ衆議院議員と、情報交換や要望活動等の方法が変わって来たことについて懇談。本村の観光振興について助言と支援をお願いし、松系高規格道路の早期実現について強く要望。モデル事業の戸別所得補償制度、農産物の流通、食育など

について
意見交換
と要望。

2. 全国治

水砂防協
会で、岡

本正男理

事長、亀

江幸二常

務理事他

より砂防

協会の歴

史、事業、

本村との

関わり等

について

説明を受

け懇談。

①昭和初

期より

農村に

おける

砂防事業が始まり長野県

の力は当初から大きく、

特に本村とは関わりが深

い。

②今後の砂防事業は社会資



砂防会館での研修 3月23日

る。

③ 国交省砂防部砂防計画課の資料により、説明を受け研修した。

3. 長野県東京事務所で荒井英彦所長(大町市出身)小林一巳次長他より説明を受けた。懇談。

県、市町村の円滑な事業推進をサポートするため、県職員他21名で業務を行っている。本村の観光振興等連絡を密にし、支援を要望。

4. 長野県観光情報センターで秋山優一所長、宮沢泰則係長他より業務実績等の説明を受け懇談。職員10名、首都圏への長野県観光情報の発信基地として案内、イベント情報の提供、特産品の販売等を実施している。本村からの営業活動への助言、支援をお願いした。

5. 無印良品店 池袋西武店で川上信吾店長より商品開発や流通経路の確保等の説明を受け、店舗視察。「白馬の豚カレー」、「お米の紫舞」が商品として販売中であつた。

本整備交付金(仮称)として実施される。従来の治水補助金制度は廃止し、水の安全安心基盤整備確保の分野への補助金とす